

# CASBEE® 新築[簡易版]

# 評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE-新築（簡易版）2010年 大阪府版 | 使用評価ソフト：CASBEE-NCb\_2010oskv.1.4

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)鳳駅前ビル 新築工事	階数	地上5F、地下1F
建設地	大阪府堺市西区鳳東町一丁	構造	S造
用途地域	都市計画区域内(市街化区域)、防	平均居住人員	420 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	5,110 時間/年
建物用途	集会所、工場、	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年6月 予定	評価の実施日	2013年10月25日
敷地面積	1,500 m <sup>2</sup>	作成者	ケイ・エス建築工房 島崎 一博
建築面積	1,288 m <sup>2</sup>	確認日	2013年11月2日
延床面積	5,987 m <sup>2</sup>	確認者	ケイ・エス建築工房 島崎 一博



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.8** ★★☆☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Q のスコア = 2.4

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.1

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.6

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

**LR 環境負荷低減性** LR のスコア = 3.2

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.4

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		その他
総合 外壁、屋根に断熱材を使用することや高効率設備を採用することで地球温暖化対策を考慮している		特に無し
Q1 室内環境 空調機がゾーニングされ、さらにゾーン別に冷、暖房の切り替えが可能	Q2 サービス性能 主要な配管の耐用年数は40年以上	Q3 室外環境(敷地内) 外構緑化指数=26.97% 建物緑化指数=13.25%
LR1 エネルギー Hf型蛍光灯、LED照明の採用による消費電力の低減	LR2 資源・マテリアル 節水型水栓、便器を採用 GL工法で部材の再利用を可能になる	LR3 敷地外環境 運用に係るCO <sub>2</sub> 排出量の削減

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建物名称	(仮称)鳳駅前ビル 新築工事	BEE	BEEランク
	建設地	大阪府堺市西区鳳東町一丁	0.8	B-
	主用途/延床面積	集会所 / 5,987.18 m <sup>2</sup>		

## 2. 重点項目への取組み

重点項目	評価点	取組み度
CO <sub>2</sub> 削減	3	
省エネ対策	3	
みどり・ヒートアイランド対策	2	
安全快適な暮らし	3	

## 3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア

CO <sub>2</sub> 削減	評価項目		スコア	評価点
地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値		3.4	3
省エネ対策	評価項目		スコア	評価点
外皮性能	CASBEE「Q1-2 2.1.3」のスコアによる評価値	建物全体	3.0	3
		住居・宿泊部分	0.0	
建物の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値		2.5	
自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値		3.0	
設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値		4.2	
効率的運用(集合住宅は対象外)	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価値		3.0	
水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価値		3.4	
みどり・ヒートアイランド対策	評価項目		スコア	評価点
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値		2.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価値		2.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価値		2.0	
安全快適な暮らし	評価項目		スコア	評価点
バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1.1.3」のスコアによる評価値		3.0	3
耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2.1」のスコアによる評価値		3.0	
地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3.1」のスコアによる評価値		3.0	
交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2.3.3」のスコアによる評価値		3.0	

## 4. その他

技術の名称	考慮事項
特に配慮した事項	